

JIS

UDC 577 : 001.4

K 3610

生体工学用語（生体化学部門）

JIS K 3610-1992

(2002 確認)

(2006 確認)

平成 4 年 11 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成 4.11.1

官報公示：平成 4.11.10

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会

審議部会：日本工業標準調査会 化学分析部会（部会長 鈴木 周一）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部繊維化学規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

生体工学用語（生体化学部門）

K 3610-1992

Technical terms for biological engineering (biochemistry)

1. 適用範囲 この規格は、生体工学分野で用いる用語のうち、生体化学部門で用いる主な用語について規定する。

2. 分類 用語は、次のとおり分類する。

- (1) 細胞工学
 - (1.1) 基礎・共通事項
 - (1.2) 遺伝情報
 - (1.3) 動物細胞
 - (1.4) 植物細胞
 - (1.5) 微生物
 - (1.6) 操作、手法及び技術
- (2) たん白質工学
 - (2.1) 基礎事項
 - (2.2) たん白質の合成、修飾及び分解
 - (2.3) たん白質の構造、状態及び物性
 - (2.4) たん白質及びその集合体の機能
 - (2.5) 実験技術及び実験装置など（たん白質工学）
- (3) 生体反応工学
 - (3.1) 基礎・共通事項
 - (3.2) 微生物工学
 - (3.3) 酵素工学
 - (3.4) 培養工学
 - (3.5) バイオリアクター
 - (3.6) 環境保全
 - (3.7) 操作、手法及び技術

3. 用語及び定義 用語及び定義は、次のとおりとする。

なお、参考のために対応英語を示す。

- (1) 細胞工学
 - (1.1) 基礎・共通事項

番号	用語	定義	対応英語(参考)
1101	アイソシゾマー	異なる菌株から単離され、認識塩基配列が互いに同じ制限酵素。 備考 イン制限酵素ともいう。	isoschizomer